



# 農学部とJDプログラムにおける教育課程関係図



山口大学農学部				
人類の生存を支える安全な食料の効率的生産，生態環境の保全及び生物資源の機能開発のための高度な教育				
	1年次	2年次	3年次	4年次
	導入	基礎	発展	応用
生物資源環境科学科	共通教育科目 (30単位)	専門科目 (84単位)		
	専門基礎科目 (10単位)	基礎理論系 植物生理学、生態学 他	発展理論系 植物病理学、作物学 他	実験・実習系 環境植物学実験、応用昆虫学実験 他
生物機能科学科	共通教育科目 (30単位)	専門科目 (82単位)		
	専門基礎科目 (12単位)	基礎理論系 微生物学、生物物理化学 他	発展理論系 環境微生物学、遺伝子工学 他	実験・実習系 細胞生化学実験、蛋白質化学実験 他
卒業要件単位 124単位				

山口大学大学院創成科学研究科 修士課程 山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻	
農学・生命科学分野の専門的知識・技術を持ち，熱帯性環境生物資源を対象とする研究や異文化体験により，先端的技术や研究能力，東南アジア諸国の生物資源に対する理解を備え，国際的視点に立って新しい時代を牽引することのできる先導的・指導的かつグローバルな高度専門職業人の養成	
1年次	2年次
専攻基盤科目 (2単位) 研究者行動規範特論 (1単位)、知的財産特論 (1単位)	専門科目〔農学系共通科目・農学科目〕 (7単位以上) 専門分野の知識・技術、課題発見・解決能力の習得 ※「修士(農学)」の学位取得を希望する場合 カセサート大学で履修 集中講義 (4単位) 1・2年次各1科目 副指導教員による研究指導 海外研究プロジェクト (6単位) 1・2年次 共同開設科目 (3単位) 2年次2単位相当分 2年次1単位相当分 特別演習 (2単位)
	特別研究(修士論文) (12単位) 修士(農学) 修士(生命科学)
専門科目〔農学系共通科目・生命科学科目〕 (7単位以上) 専門分野の知識・技能、課題発見・解決能力の習得 ※「修士(生命科学)」の学位取得を希望する場合	
修了要件単位 36単位	

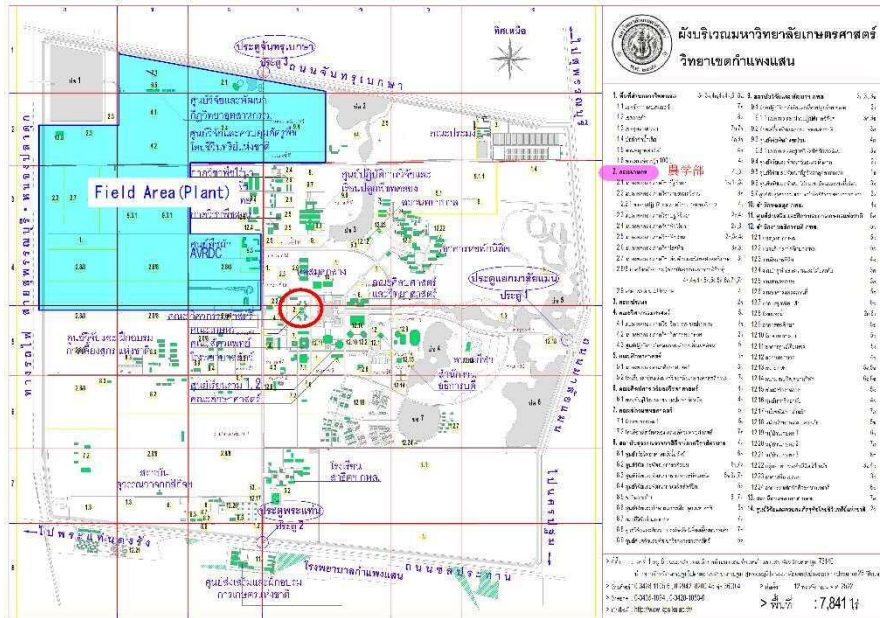




## カセサート大学カンペンセンキャンパス内の

## フィールド、施設・設備と教育（実験・実習）について

〈カンペンセンキャンパス図（再掲）〉



〈カンペンセンキャンパス上空写真〉



明記し、海外研究プロジェクト「Experimental work for selected topics I、II」において、有機農法での持続可能な作物生産、害虫及びその駆除、植物に関する環境生理学、土壌資源や土壌管理、トウモロコシやサトウキビの生産性向上、養蚕や産業昆虫学、野菜の育種や種子技術等について実験・実習等を行うカリキュラムを整備している。

創成科学研究科山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻では、連携外国大学であるカセサート大学カンペンセンキャンパスにある、サトウキビなどの穀物や熱帯植物、熱帯野菜、熱帯果樹等の育成・実験を行っているフィールド、施設、設備を活用し、熱帯性環境生物資源をフィールドにて探索・開発する知識と技術力を身に付けた人材の養成を行うこととしている。また、カリキュラム・ポリシーには、カセサート大学のフィールドをはじめとする施設・設備を活用し、熱帯性環境生物資源の利用開発に関する知識を深めることを





Central Laboratory and Greenhouse Complex

温室での米の耐乾性実験や品種改良、土壌資源や管理について実習を行う。



Plant Diseases and Related Sciences Unit

植物の病気や害虫についてサンプル採取や観察を行う。また防除・害虫駆除についても実験・実習を行う。



Seed Technology and Crop Improvement Unit

植物や熱帯果実の育成環境、植物育種及び種子技術等について実習や穀物や熱帯野菜の育成や育種、土壌肥沃度と収穫量について実習を行う。



Plant Conservation and Utilization Unit

植物環境と、共存する微生物の多様性及び有機野菜の栽培について実習を行う。



Cane and Sugar Research and Development Center

サトウキビや砂糖の生産・利用の研究開発、研究成果の有効利用を行っている。収穫量とストレスの関係について実習を行う。